ACSES ニュースレター_２０２１号（2021 年 1 月 25 日）

発行：NPO 法人教育研究機関化学物質管理ネットワーク（ACSES）事務局

―目次（15 頁）―

[1] 化学物質関係事故、事件関係
◇ＣＯ２漏れ作業員２人死亡　消火装置誤作動か―東京〈Web 報道〉
□大災害、原発事故対策
[原子力施設全般]
・廃炉もんじゅ、燃料取り出し再開　19 年以来〈Web 報道〉
[大震災対策]
・コロナ禍で大災害の恐怖　避難所クラスター発生を止められない現実〈Web 報道〉
[2] [特集] 新型コロナウイルス感染症
[状況]
◇省庁発表
◇マスコミ報道　見出し
[対策・予防]
◇省庁発表
◇ワクチン、検査薬、治療薬等
◇大学等関係
◇マスコミ報道　見出し
[3] 危険ドラッグの成分４物質を新たに指定薬物に指定～指定薬物等を定める省令を公布しました～〈厚生労働省〉
◇医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令（厚生労働省令第７号）〈官報〉
[4] 残留性有機汚染物質検討委員会第 16 回会合（POPRC16）の結果について〈環境省・経済産業省〉
[5] 廃棄物関係
◇低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物の無害化処理に係る大臣認定について（北電テクノサービス株式会社／東芝環境ソリューション株式会社／株式会社イオン）〈環境省〉
[6] 温暖化対策関係
◇温室効果ガス、どう減らす？　身近な「移食住」対策で…〈新聞報道〉
[7] 調査、公募、意見募集等
[公募、意見募集等]　１件
[8] 関連会議等の開催案内、開催記録・報告、資料等
[開催案内]　８件　[開催記録、報告、資料等]　７件
[9] その他
◇インフルエンザ、感染症関係：３件
[付録]
◇宇都宮大が個別試験を中止　他大学でも取りやめの可能性〈新聞報道〉
・宇都宮大２次試験中止　コロナ拡大で異例、共通テスト成績などで合否判定へ〈新聞報道〉
・２次試験直前の中止「ルール違反では」　宇都宮大決定に戸惑う塾や高校〈新聞報道〉
・文科省、個別入試の中止・変更をけん制　全大学に「慎重な検討」促す〈新聞報道〉

寒緋桜（カンヒザクラ）

****

[1] *化学物質関係事故、事件関係*

◇ＣＯ２漏れ作業員２人死亡　消火装置誤作動か―東京

＜時事通信　2021 年 1 月 23 日＞　https://www.jiji.com/jc/article?k=2021012300424&g=soc

２３日午前１１時１５分ごろ、東京都港区西新橋のビルの地下１階で「消火装置が誤作動を起こし、二酸化炭素（ＣＯ２）が漏えいした」と１１９番があった。警視庁愛宕署によると、点検作業などに当たっていた３人が病院に搬送され、男性作業員２人が死亡した。　同署によると、誤作動を起こしたのは、地下で火災が発生した場合、ＣＯ２を放出して火を消し止める装置。当時は約６人が消火装置などの点検に当たっていたとみられ、何らかの原因で誤作動を起こした可能性があるという。同署は業務上過失致死容疑も視野に、詳しい原因を調べている。

・点検中に噴き出す二酸化炭素…西新橋で消火設備が誤作動、作業員２人死亡

＜読売新聞　2021 年 1 月 23 日＞　https://www.yomiuri.co.jp/national/20210123-OYT1T50200/

２３日午前１１時１０分頃、東京都港区西新橋のビルの地下１階駐車場で、点検作業中の消火設備が誤作動し、消火用の二酸化炭素が噴き出した。東京消防庁などによると、この事故で、作業員ら男性３人が病院に搬送されたが、うち２人の死亡が確認された。

警視庁愛宕署が身元の確認を急ぐとともに、事故原因を調べている。現場には当時、作業員と警備員の計６人がいたという。

現場は都営三田線内幸町駅近くのビルが立ち並ぶ一角。

□*大災害、原発事故対策*

[原子力施設全般]

・廃炉もんじゅ、燃料取り出し再開　19 年以来

＜共同通信　2021 年 1 月 23 日＞　https://www.47news.jp/5754642.html

日本原子力研究開発機構は 23 日、廃炉作業中の高速増殖原型炉もんじゅ（福井県敦賀市）で、原子炉に残る使用済み核燃料の取り出し作業を再開した。廃炉決定後の 2019 年に 100 体を取り出して以来となる。1 日に最大 6 体のペースで進め、3 月ごろまでに 146 体を取り出す予定。

機構によると、取り出した燃料は、原子炉横の「燃料貯蔵槽」へ移す。その後、貯蔵槽から「燃料池」と呼ばれるプールへさらに移送する。

原子炉内には 270 体あり、今回と次回の作業で原子炉からの取り出しを完了させる方針。22 年末までに全ての燃料をプールに移す計画になっている。

[大震災対策]

・コロナ禍で大災害の恐怖　避難所クラスター発生を止められない現実

＜NEWS ポストセブン　2021 年 1 月 21 日＞

https://www.news-postseven.com/archives/20210123_1628755.html?DETAIL

コロナ禍が続くなか明けた 2021 年だが、夏以降に危惧されるのが災害の発生だ。例年、ゲリラ豪雨や台風で河川の氾濫などが起き、多くの人が避難所生活を余儀なくされる。感染拡大が収まっていなければ、危機的事態が起きかねない。

「自然災害」と「感染症」の組み合わせは、大きな被害をもたらす。1995 年の阪神・淡路大震災では避難所で季節性インフルエンザが流行し、2016 年の熊本地震ではノロウイルスの集団感染が発生した。

昨年は本土への台風上陸が 12 年ぶりに「ゼロ」だったこともあり、避難所でのクラスター発生などはなかったが、今年もそうなると考えるのは都合がよすぎる。避難所・避難生活学会理事で新潟大学特任教授の榛沢和彦氏が警鐘を鳴らす。

「日本には災害担当の省庁がない。昨年 9 月の自民党総裁選で敗れた石破茂・元幹事長は創設の必要性を主張してきましたが、政敵にあたる菅首相は実現に動いてこなかった。その結果、全国の市町村がバラバラのマニュアルを作っていて、感染防止を考えた時に大きな問題となりかねない。

たとえば、感染防止に必須となるのが簡易ベッドです。ウイルスは床付近に多く、30 センチ離れるだけで半分に減る。だから床から離れて寝る簡易ベッドが必要なのです。それなのに各自治体の対応にはバラツキがあって、簡易ベッドの備蓄などのための予算の手当ても十分ではないのが現状です」

新型コロナの感染拡大を受け、避難所の定員は減らされているが、それによる「定員オーバー」という問題も出てくる。

「昨年 9 月に台風 10 号が接近して避難勧告が出された際には、各地の避難所で定員超過が起きました。こうした避難所不足の問題への対策も進められていません」（同前）

もし“避難所クラスター”が続出すれば、どうなるか。最悪の事態を避けるためにも、今から早急な対策が求められるだろう。　　※　週刊ポスト 2021 年 1 月 29 日号

****

[2] *[特集] 新型コロナウイルス感染症*

[状況]

◇省庁発表

・新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和 3 年 1 月 22 日版）
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=C_OFzMwC4Z-kjEqZY
・新型コロナウイルス感染症の患者等の発生について（空港・海港検疫）
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=o1stZGSqSTcMJO0xY
・新型コロナウイルスに関連した患者等の発生について(1 月 21 日各自治体公表資料集計分)
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2sdVFSaeQc8FNgBY
・新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況、国内の患者発生、空港検疫事例）を更新しました
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=8wt9NDT6GWdcdJJhY
・国内の発生状況について更新しました
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=U6vdlJRaucf81D3BY
・新型コロナウイルス感染症（変異株）の患者等の発生について
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16260.html
・地域ごとの感染状況等の公表について更新しました
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00016.html

---

◇マスコミ報道　見出し

・「変異ウイルス死亡リスク高い可能性も」　英政府 分析結果公表
＜NHK　2021 年 1 月 23 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210123/k10012829431000.html
・英変異種、高い死亡率　１０００人中１３人―政府発表
＜時事ドットコム　2021 年 1 月 23 日＞
https://www.jiji.com/jc/article?k=2021012300168&g=int&utm_source=top&utm_medium=topics&utm_campaign=edit
・南アの変異型「1.5 倍感染しやすい」　専門家が指摘
＜朝日新聞　2021 年 1 月 23 日＞
https://www.asahi.com/articles/ASP1R735YP1RUHBI007.html?iref=comtop_7_05
・都内の女の子 変異ウイルス感染 海外渡航歴ない男性から感染か
＜NHK　2021 年 1 月 23 日＞
https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210122/k1001282902
1000.html?utm_int=all_side_ranking-access_002・
・感染したのに自宅待機、急増 2300 人　1 カ月間で 4 倍
＜朝日新聞　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1P7HDBP1PUDCB008.html
・搬送待ち 2 時間で心肺停止、岐阜 70 代、コロナで急変
＜共同通信　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.47news.jp/news/new_type_pneumonia/5750796.html
・神奈川の 60 代女性、検査前に自宅で死亡
＜共同通信　2021 年 1 月 23 日＞　https://this.kiji.is/725669882241531904

・「発熱患者、事前連絡なしに来院」　108 医療機関が困惑　茨城
＜毎日新聞　2021 年 1 月 22 日＞　https://mainichi.jp/articles/20210122/k00/00m/040/014000c
---

[対策・予防]

◇<u>省庁発表</u>

・「緊急事態宣言を踏まえた追加的支援策のご案内」を更新しました。
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=tU07cnK8XyEaMvYnY
・新型コロナワクチンについて
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=gXkPRkaIaxUuBskTY
・自費検査を提供する検査機関一覧を更新しました。
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=3ydRGBjWNUtwWL1NY
・緊急事態宣言を踏まえた追加的支援策のご案内について
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=C_OFzMwC4Z-kjGiZY
・自治体・医療機関向けの情報一覧（事務連絡等）（新型コロナウイルス感染症）2021 年を更新しました
https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E-ud1NQa-Ye8lHyBY
・「療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査について」を更新しました
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00023.html
・「関連情報」の「病床・宿泊療養施設確保計画」について更新しました
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞
https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kansenkakudaiboushi-iryouteikyou.html
・新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS）：Gathering Medical Information System on COVID-19
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00130.html
・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）ページを更新しました NEW
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
・新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS)：Health Center Real-time information-sharing System on COVID-19
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00129.html
・自費検査を提供する検査機関一覧を更新しました。
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/covid19-jihikensa_00001.html
・緊急事態宣言を踏まえた追加的支援策のご案内について
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16253.html
https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kurashiyashigoto.html

◇<u>マスク</u>

・近接感染、飛沫が６～８割　コロナ病室　マスクやシールド効果大
＜京都新聞　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/475589
・WHO、コロナ変異株の感染予防にも布製マスク推奨
＜ AFP＝時事　2021 年 1 月 23 日＞　https://www.afpbb.com/articles/-/3327960

◇<u>ワクチン、検査薬、治療薬等</u>

・WHO 新型コロナワクチン提供で合意と発表 来月供給開始へ
＜NHK　2021 年 1 月 23 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210123/k10012829411000.html
・「COVAX」ワクチン、2 月から供給開始　WHO 発表　ファイザーと合意
＜毎日新聞　2021 年 1 月 23 日＞　https://mainichi.jp/articles/20210123/k00/00m/030/021000c
・モデルナのワクチン接種 400 万人中激しいアレルギー反応 10 人

＜NHK　2021 年 1 月 23 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210123/k10012829461000.html
・新型コロナワクチン供給に不透明感　契約変更、出遅れ響く
＜時事ドットコム　2021 年 1 月 23 日＞
https://www.jiji.com/jc/article?k=2021012201115&g=pol&utm_source=top&utm_medium=topics&utm_campaign=edit
・接種見通しは白紙　河野氏が修正　　河野氏、官房副長官のワクチン接種見通し修正　「政府内に齟齬」
＜産経新聞　2021 年 1 月 22 日＞　http://www.sankeibiz.jp/macro/news/210122/mca2101221141021-n1.htm
・新型コロナのワクチン　日本政府が契約した 3 社の効果と不安材料
＜NEWS ポストセブン　2021 年 1 月 23 日＞
https://www.news-postseven.com/archives/20210122_1629500.html?DETAIL
・スウェーデン、誤った温度で輸送　コロナワクチン、千人に接種
＜共同通信　2021 年 1 月 23 日＞　https://www.47news.jp/news/5754939.html
・コロナウイルス捕まえる抗体開発　新薬、マスクへの応用目指す
＜共同通信　2021 年 1 月 23 日＞　https://this.kiji.is/725617457437769728?c=39546741839462401

◇大学等関係

・学生のやる気、オンラインで低下？　朝日新聞・河合塾共同調査
「心のケア課題」80％超で推移

＜朝日新聞　2021 年 1 月 24 日＞　https://www.asahi.com/articles/DA3S14775202.html

講義のオンライン化に伴い、学生の意欲の低下を懸念する大学が増えていることが、朝日新聞と河合塾の共同調査でわかった。通信環境の整備や教員のデジタル技能などは改善しているが、オンライン授業に意義を見いだせない学生は少なくない。コロナ禍の長期化をみすえ、学生のメンタルケアが課題になっている。

文部科学省の昨年 10 月時点の調査によると、授業の半分以上をオンラインで実施する大学は 187 校に上った。うち「全面オンライン」は１校、「ほぼオンライン」が 64 校だ。東京大、早稲田大、上智大など首都圏の大規模校が目立つ。

コロナ禍による大学の変化を把握するため、朝日新聞と河合塾は、年１回実施している共同調査「ひらく　日本の大学」を 2020 年度は２回おこなった。

１回目の「緊急調査」は国公私立の 768 大学を対象に昨年６～７月に実施し、85％の 652 大学が回答した。２回目の「本調査」は昨年９～11 月、国公私立の 767 大学に尋ね、82％にあたる 631 大学が答えた。

オンライン授業の課題として考えられる７項目について「大きな課題である」「課題である」と答えた大学の割合を両調査で比べた。その結果、「大学の情報通信機器や回線など施設・設備面」や「教員の情報通信技術のスキル」など６項目では、その割合が減り、改善が見られた。

とくに「実験・実習・実技系科目への対応」は、緊急調査で「大きな課題である」「課題である」と答えた大学が 94％だったが、本調査では 73％に減った。こうした科目については秋学期から、オンライン授業は予習として使い、対面授業も組み合わせるなど、対策を講じている大学が多い。

しかし、「学生の学ぶ意欲やメンタルケア」については、「大きな課題である」「課題である」と答えた大学の割合が緊急調査の 87＆から、本調査では 88％と１ポイント増えた。緊急調査と比べ、本調査で悪化した唯一の項目だった。

オンライン授業は気持ちを把握しにくいとされる。その点に効果的な対処策を見いだせていない大学側の懸念がうかがえる。

減る雑談　一定の対面「不可欠」

「全部オンラインのままだと、やる気が続かない」

昨年５月からすべての授業がオンラインになった埼玉県内の私立大２年の男子学生(20)は、そう不満を口にする。自宅で朝から晩までパソコンの画面をみていると、途中で集中力が切れてしまう。よくないとわかっていても、つい、スマートフォンを触り、ネット検索をしてしまう。

語学の授業では、少人数のグループに分かれてやりとりするが、画面ごしの議論は盛り上がらない。
課されたテーマでひととおり話し終えると、沈黙が続く。「クラスメートと画面上で何度顔をあわせても、お互いに敬語のまま。距離が縮まった感じがしない」

他方で、授業がほぼオンラインになった東京大３年の男子学生(21)は「通学の時間が省けてかえって好都合」と、現状を不満なく受け入れている。個人差は大きい。

東京都の私立大の教授は、大学当局からオンライン授業を推奨されているが、自分の担当するゼミでは感染対策をしたうえで、対面の機会を設けるように努めている。「オンラインだけでは学生の変化に気づけない。途中から授業に参加しなくなった学生が数人いる。脱落を防ぐには、一定の対面のコミュニケーションが不可欠だと思う」

名古屋大学学生支援センターの鈴木健一副センター長は、大学と学生の価値観の違いがあるとみる。
「大学は質の高いオンライン授業の提供に力を入れているが、学生にとっては、授業の前後の友人や教員との雑談などが学ぶモチバーションになっている面がある」と指摘。「オンラインではそうした触れ合いが不足しがち。それが学習の成果に影響しかねない」と話す。

・宇都宮大が個別試験を中止　他大学でも取りやめの可能性　　→　末尾［付録］
＜朝日新聞　2021 年 1 月 23 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1Q7HTVP1QUTIL013.html

---

・筑波大が食料支援、20 トン配布　学生 3 千人が行列
＜朝日新聞　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1Q63BKP1QUJHB003.html
・大学の学食１３０円に　コロナで苦境の学生支援―フランス
＜時事通信　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.jiji.com/jc/article?k=2021012200436&g=int

---

・各大学の「新型コロナウイルス感染症」の対応について【北海道～東京】(1/21 更新)
＜大学プレスセンター　2021 年 1 月 21 日＞　https://www.u-presscenter.jp/article/post-43243.html

・各大学の「新型コロナウイルス感染症」の対応について【神奈川～九州・沖縄】(1/18 更新)
＜大学プレスセンター　2021 年 1 月 21 日＞　https://www.u-presscenter.jp/article/post-43302.html

---

・在校生が PCR 検査、入試中止に　宮城の私立古川学園高、前日決定
＜共同通信　2021 年 1 月 23 日＞　https://www.47news.jp/news/5754195.html

宮城県大崎市の私立古川学園高は、23 日に実施予定だった一般入試の筆記試験と面接を中止した。複数の在校生が新型コロナウイルス感染症の PCR 検査を受けたことを理由に、22 日決定した。受験生約 890 人の合否は調査書などの提出書類で決める。同校は「感染拡大防止と、受験生の健康と安全を最優先に考慮した」としている。

同校によると、在校生らは 21 日に PCR 検査を受け、23 日に結果が判明する見込み。同校は「予防的措置」として、五つの会場で実施する筆記試験と面接の中止を決めた。

受験生には 22 日に、オンライン出願で登録したメールアドレスや在籍する中学校を通じて連絡した。

◇マスコミ報道　見出し
・２０都府県が「ステージ４」　コロナ病床、自宅療養も増―厚労省
＜時事通信　2021 年 1 月 23 日＞　https://news.goo.ne.jp/article/jiji/nation/jiji-210123X865.html
・感染したのに自宅待機、急増 2300 人　1 カ月間で 4 倍
＜朝日新聞　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1P7HDBP1PUDCB008.html

****

[3] 危険ドラッグの成分４物質を新たに指定薬物に指定
～指定薬物等を定める省令を公布しました～
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000212475_00019.html
厚生労働省は、本日付けで別紙の４物質を新たに「指定薬物」（※１）として指定する省令（※２）を公布し、

令和３年２月１日に施行することとしましたので、お知らせします。
新たに指定された４物質は、今年１月 21 日の薬事・食品衛生審議会薬事分科会指定薬物部会において、指定薬物とすることが適当とされた物質であるため、早急に指定（※３）を行うこととなります。
施行後は、これらの物質とこれらの物質を含む製品について、医療等の用途以外の目的での製造、輸入、販売、所持、使用等が禁止されます。
なお、これらの物質は、輸入時に新たに発見された物質や海外で流通している物質であり、厚生労働省は危険ドラッグが海外から輸入され、乱用されることのないよう水際（輸入）対策を強化していく方針です。
また、今後、インターネットによる販売も含め、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく無承認無許可医薬品としての指導取締りも強化していく方針です。
危険ドラッグについては、販売、購入、輸入等をしないよう強く警告いたします。
※１　厚生労働大臣は、中枢神経系への作用を有する蓋然性が高く、人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれのある物を「指定薬物」として指定する（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第２条第 15 項）。指定薬物は、製造、輸入、販売、所持、使用等が禁止されている（罰則：３年以下の懲役または 300 万円以下の罰金。業としての場合は５年以下の懲役または 500 万円以下の罰金）。
※２　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令（令和３年厚生労働省令第７号）
※３　部会において指定薬物とすることが適当とされた物質については、使用による健康被害等を防止するため、パブリックコメントの手続きを省略し、指定薬物として早急に指定することとしている。

別紙　　https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/000345410.pdf

新たに指定された指定薬物の名称

［物質１］ 省令名： エチル＝２―［１―（５―フルオロペンチル）―１Ｈ―インダゾール―３―カルボキサミド］―３，３―ジメチルブタノアート
通称等： 5F-EDMB-PINACA
CAS 番号：1715016-75-3（*R*/*S*）、1971007-89-2（*S*）、1838134-16-9（*R*）　＊）

［物質２］ 省令名： ４―（シクロプロピルカルボニル）―Ｎ，Ｎ―ジエチル―７―メチル―４，６，６ａ，７，８，９―ヘキサヒドロインドロ［４，３―ｆｇ］キノリン―９―カルボキサミド
通称等： 1cP-LSD
CAS 番号：(調査中)　　＊）
＜備考＞
正式名称：
(6a*R*,9*R*)-*N*,*N*-diethyl-7-methyl-4-cyclopropylmethanoyl-4,6,6a,7,8,9- hexahydroindolo-[4,3-*fg*]quinoline-9-carboxamide
1cP-LSD (N1-(cyclopropylmethanoyl)-lysergic acid diethylamide)
(8R) -1-（シクロプロパンカルボニル）-N,N-ジエチル-6-メチル-9,10-ジデヒドロエルゴリン-8-カルボキサミド及びその塩類

［物質３］ 省令名： メチル＝２―［１―（４―フルオロベンジル）―１Ｈ―インドール―３―カルボキサミド］―３―メチルブタノアート
通称等： AMB-FUBICA、MMB-FUBICA
CAS 番号：1971007-90-5　　＊）

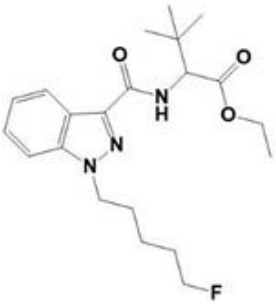
［物質４］ 省令名： メチル＝３―メチル―２―［１―（ペンタ―４―エン―１―イル）―１Ｈ―インドール―３―カルボキサミド］ブタノアート
通称等： MMB-022、AMB-4en-PICA、MMB-4en-PICA
CAS 番号：837112-21-7　　8492312-32-2　　13605-48-6　　(MMB-022)　　＊）

8492312-32-2　(AMB-4en-PICA)　＊)
(MMB-4en-PICA)

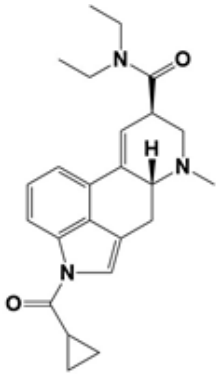
＜備考＞

正式名称： Methyl 3-methyl-2-[(1-pent-4-enylindole-3- carbonyl)amino]butanoate

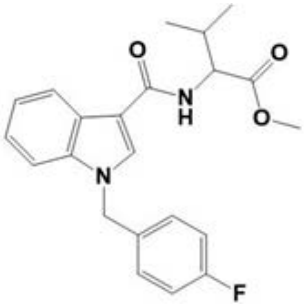
＜構造式＞



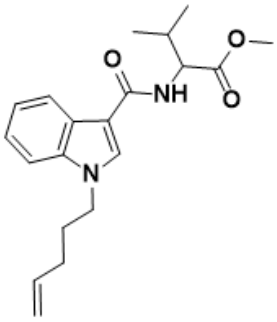
物質１



物質２



物質３



物質４

＊）ACSES事務局調べ。

◇医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令（厚生労働省令第７号）

［官報］ 令和３年１月 22 日　特別号外　第６号　1～2 頁

https://kanpou.npb.go.jp/20210122/20210122t00006/20210122t000060001f.html

○厚生労働省令第７号

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和三十五年法律第百四十五号）第二条第十五項の規定に基づき、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令を次のように定める。

令和３年１月 22 日　　厚生労働大臣　　田村　憲久

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令（平成十九年厚生労働省令第十四号）の一部を次の表のように改正する。

（傍線部分は改正部分）

改　正　後	改　正　前
（指定薬物） **第一条**　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和三十五年法律第百四十五号。以下「法」という。）第二条第十五項の規定に基づき、次に掲げる物を指定薬物に指定する。 一～六十五　（略） 六十六　（略） <u>六十七　エチル＝２－［１－（５－フルオロペンチル)</u>	（指定薬物） **第一条**　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和三十五年法律第百四十五号。以下「法」という。）第二条第十五項の規定に基づき、次に掲げる物を指定薬物に指定する。 一～六十五　（略） 六十六　エチル＝２－［１－（４－フルオロベンジル）－１Ｈ－インダゾール－３－カルボキサミド］－３－メチルブタノアート及びその塩類 （新設）

－１Ｈ－インダゾール－３－カルボキサミド］－３・３－ジメチルブタノアート及びその塩類	
六十八　（略）	六十七　エチル＝２－［１－（５－フルオロペンチル）－１Ｈ－インダゾール－３－カルボキサミド］－３－メチルブタノアート及びその塩類
六十九～九十七　（略）	六十八～九十六　（略）
九十八　（略）	九十七　Ｎ・Ｎ－ジエチル－５－メトキシトリプタミン及びその塩類
九十九　４－（シクロプロピルカルボニル）－Ｎ・Ｎ－ジエチル－７－メチル－６・６・６ａ・７・８・８－ヘキサヒドロインドロ［４・３－ｆｇ］キノリン－９－カルボキサミド及びその塩類	（新設）
百　（略）	九十八　２－［１－（シクロヘキシルメチル）－１Ｈ－インダゾール－３－カルボキサミド］－３－メチルブタン酸及びその塩類
百一～二百四十六　（略）	九十九～二百四十四　（略）
二百四十七　（略）	二百四十五　メチル＝２－［１－（４－フルオロベンジル）－１Ｈ－インドール－３－カルボキサミド］－３・３－ジメチルブタノアート及びその塩類
二百四十八　メチル＝２－［１－（４－フルオロベンジル）－１Ｈ－インドール－３－カルボキサミド］－３－メチルブタノアート及びその塩類	（新設）
二百四十九　（略）	二百四十六　メチル＝２－［１－（５－フルオロペンチル）－１Ｈ－インドール－３－カルボキサミド］－３－フェニルプロパノアート及びその塩類
二百五十　（略）	二百四十七　（略）
二百五十一　（略）	二百四十八　３－メチル－２－（４－メチルフェニル）モルフォリン及びその塩類
二百五十二　メチル＝３－メチル－２－［１－（ペンタ－４－エン－１－イル）－１Ｈ－インドール－３－カルボキサミド］ブタノアート及びその塩類	（新設）
二百五十三　（略）	二百四十九　メチル＝３－メチル－２－（１－ペンチル－１Ｈ－インダゾール－３－カルボキサミド）ブタノアート及びその塩類
二百五十四～二百九十四　（略）	二百五十～二百九十　（略）

附　則

この省令は、公布の日から起算して十日を経過した日から施行する。

****

[4] 残留性有機汚染物質検討委員会第 16 回会合（POPRC16）の結果について

＜環境省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.env.go.jp/press/108984.html

＜経済産業省　2021 年 1 月 22 日＞

https://www.meti.go.jp/press/2020/01/20210122003/20210122003.html?from=mj

令和３年１月 11 日から 16 日にかけて、残留性有機汚染物質を国際的に規制するストックホルム条約による規制対象物質について検討を行う「残留性有機汚染物質検討委員会」（POPRC）の第 16 回会合がオンラインで開催されました。

本会合では、デクロランプラス並びにその syn-異性体及び anti-異性体について、更なる情報収集を行い、引き続き検討することが決定されました。また、メトキシクロルについては、リスク管理に関する評価を検討する段階に進めることが決定されました。

さらに、新たに提案された UV-328 については、リスクプロファイル案を作成する段階に進めることが決定されました。

1. 背景

「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約（POPs 条約）」は、環境中での残留性、生物蓄積性、人や生物への毒性が高く、長距離移動性が懸念されるポリ塩化ビフェニル（PCB）、DDT 等の残留性有機汚染物質（POPs：Persistent Organic Pollutants）の製造及び使用の廃絶や制限、その意図的でない生成による放出の削減等の規制に関する条約です。

条約対象物質への追加について検討する検討委員会（POPRC、加盟国の 31 人の専門家から構成）においては、加盟国から提案された物質について、①スクリーニング、②危険性に関する詳細検討（リスクプロファイル）、③リスク管理に関する評価の検討の３段階のプロセスを経て、締約国会議（COP）に勧告します。

COP での決定の後、各加盟国は、対象物質について製造、使用等を規制することになります。我が国では、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）」等によって規制します。

2. 今回の会合での決定内容

POPRC の第 16 回会合（POPRC16）は、令和３年１月 11 日～16 日にオンラインで開催され、我が国からは、メンバーとして金原和秀静岡大学大学院教授が、また、オブザーバーとして環境省・経済産業省の担当官、国内の専門家等が出席しました。POPRC16 で決定した内容は、以下のとおりです。

(1) 条約対象物質としての検討

①デクロランプラス並びにその syn-異性体及び anti-異性体（提案国：ノルウェー）

【主な用途】難燃剤

リスクプロファイル案を審議し、残留性、濃縮性、長距離移動性及び毒性等を検討した結果、デクロランプラス並びにその syn-異性体及び anti-異性体について、現状の情報では重大な悪影響をもたらす恐れがあると結論づけることに合意が得られなかったため、今後更なる情報を収集し、次回会合（POPRC17）において議論を継続することとなりました。

②メトキシクロル（提案国：欧州連合）

【主な用途】殺虫剤

リスクプロファイル案を審議し、残留性、濃縮性、長距離移動性及び毒性等を検討した結果、メトキシクロルが重大な悪影響をもたらす恐れがあるとの結論に達し、次回会合（POPRC17）においてリスク管理に関する評価を検討する段階に進めることが決定されました。

③UV-328（提案国：スイス）

【主な用途】紫外線吸収剤

提案国から提出された提案書について、残留性、濃縮性、長距離移動性及び毒性等を審議した結果、UV-328 がスクリーニング基準を満たすとの結論に達し、次回会合（POPRC17）に向けてリスクプロファイル案を作成する段階に進めることが決定されました。

(2) その他の検討

①ペルフルオロオクタン酸（PFOA）とその塩及び PFOA 関連物質の例示リスト

例示リストの改定について、締約国から意見募集を行うことが決定されました。

3. 今後の予定

POPRC15 及びPOPRC16 の結果を踏まえた第 10 回締約国会議（COP10）は令和３年７月にジュネーブで開催される予定です。また、次回会合（POPRC17）は令和３年９月末から 10 月初めにかけてローマで開催される予定です。

****

[5] ***廃棄物関係***

◇低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物の無害化処理に係る大臣認定について（北電テクノサービス株式会社）

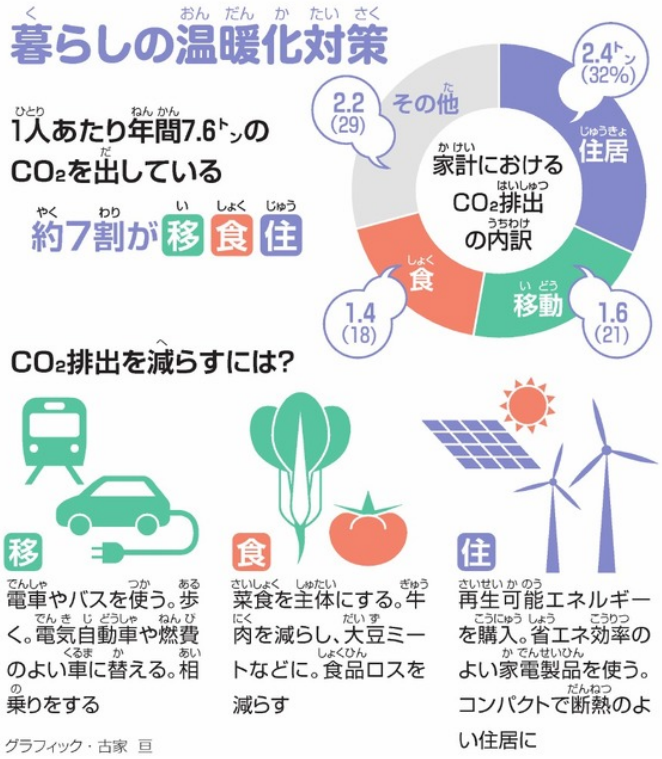
＜環境省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.env.go.jp/press/108930.html
---

◇低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物の無害化処理に係る大臣認定について（東芝環境ソリューション株式会社）
＜環境省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.env.go.jp/press/108927.html
---

◇低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物の無害化処理に係る大臣認定について（株式会社イオン）
＜環境省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.env.go.jp/press/108924.html
****

[6] ***温暖化対策関係***

◇温室効果ガス、どう減らす？　身近な「移食住」対策で…
＜朝日新聞　2021 年 1 月 23 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1M6309P1MUBQU001.html



****

[7] ***調査、公募、意見募集等***

[公募、意見募集等]

◇「令和３年度除去土壌等の減容等技術実証事業」の実証テーマの公募について
＜環境省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.env.go.jp/press/108985.html
****

[8] ***関連会議等の開催案内、記録・報告、資料等***

[開催案内]

・石綿に係る疾病の業務上外に関する検討会
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-roudou_128880.html
・令和２年度第 11 回「石綿に係る疾病の業務上外に関する検討会」を開催します（オンライン開催）
　　1 月 29 日、非公開
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16171.html
（1）個別労災請求事案に係る医学的事項について
（2）その他
・第 27 回　食品衛生管理に関する技術検討会 資料　　1 月 25 日
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16246.html

１）食品等事業者団体が策定した衛生管理計画手引書案の確認
・ゼラチン・コラーゲンペプチドの製造
２） 食品衛生監視票の改正について
３）その他

・令和２年度野生動植物への放射線影響調査研究報告会の開催について　　２月 19 日、オンライン
＜環境省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.env.go.jp/press/108965.html
開催目的　放射線による野生動植物への直接的・間接的な影響について調査を実施している関係機関、専門家等との情報共有・連携を図ること。

・第４回食品の営業規制の平準化に関する検討会の開催案内　　１月 29 日、非公開
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16071.html
（１）営業規制の平準化に関する運用について
（２）その他

・産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会プラスチック資源循環戦略ワーキンググループ、中央環境審議会循環型社会部会プラスチック資源循環小委員会合同会議（第 8 回）
1 月 28 日、WEB 開催
＜経済産業省　2021 年 1 月 22 日＞
https://wwws.meti.go.jp/interface/honsho/committee/index.cgi/committee/37106
今後のプラスチック資源循環施策のあり方について　その他

・第 4 期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方に関する検討会（第 4 回）の開催について
1 月 26 日
＜文部科学省　2021 年 1 月 22 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afywacwqebuhrhbJ
・　関係者からのヒアリング
・　自由討議
・　その他

・原子力科学技術委員会 核不拡散・核セキュリティ作業部会（第 18 回）の開催について
1 月 29 日、オンライン
＜文部科学省　2021 年 1 月 22 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afywacwqebuhrhbL
核不拡散・核セキュリティ分野における人材育成の取組、その他

[開催記録、報告、資料等]

・第３回 職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会　リスク評価ワーキンググループ　議事録
12 月 23 日
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16244.html
国によるリスク評価のあり方について

・石綿に係る疾病の業務上外に関する検討会（令和２年度第 10 回）議事概要　　12 月 18 日
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16172.html
（１）個別労災請求事案に係る医学的事項について
（２）その他

・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品調査部会 議事録　　令和 2 年 12 月 7 日、オンライン会議
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16211.html
１．報告事項
(1)ゲノム編集技術応用食品等の取扱要領の改正について
(2)いわゆる健康食品によるものと疑われる健康被害への対応について
(3)指定成分等含有食・品による健康被害報告の相談体制について
２．その他

・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品調査部会遺伝子組換え食品等調査会 議事録
11 月 16 日、オンライン会議
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16210.html
（１）ゲノム編集技術応用食品の後代交配種等の取扱い整理
（２）その他

・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品調査部会遺伝子組換え食品等調査会 公開 議事録
　　11 月 27 日、オンライン会議
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16209.html
（1）ゲノム編集技術応用食品の後代交配種等の取扱い整理
（2）その他
・第 42 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会　予防接種基本方針部会、研究開発及び生産・流通部会(合同開催)　議事録｜厚生労働省　　12 月 10 日
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16205.html
（1）新型コロナウイルスワクチンの接種体制・流通体制の構築について
（2）その他
・厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会）　　第 43 回：12 月 25 日
＜厚生労働省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_127714.html
（1）新型コロナウイルスワクチンの接種順位等について
（2）その他
****

[9] *その他*

◇インフルエンザ、感染症関係

・宮崎県の死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査陽性について（野鳥国内 31 例目）
＜環境省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.env.go.jp/press/109058.html
・千葉県における高病原性鳥インフルエンザ発生（家きん国内 37 例目）に伴う野鳥緊急調査の結果について
＜環境省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.env.go.jp/press/109057.html
・北海道の死亡野鳥における A 型鳥インフルエンザ遺伝子検査陽性について
＜環境省　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.env.go.jp/press/109056.html
9**********

[付録]

◇宇都宮大が個別試験を中止　他大学でも取りやめの可能性　　*上記 [2] 関係*

＜朝日新聞　2021 年 1 月 23 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1Q7HTVP1QUTIL013.html

新型コロナウイルスの感染者数の高止まりが続くなか、25 日の出願開始を前に、個別試験を急に中止する国公立大学が出てきている。本来は大学入学共通テストの後、個別試験をへて入学者を選抜するが、原則、マークシート式の共通テストの成績のみでの判定に切り替え、各校での独自の試験は行わないことになる。

緊急事態宣言の対象区域である栃木県の宇都宮大は 21 日、個別試験の中止を公表した。共通テストの成績などで合否を判定する。大学側は「受験者の健康と安全を守ることを最優先に判断した」と説明する。山口県の山陽小野田市立山口東京理科大も個別試験を取りやめ、共通テストの成績で合否を判定する方針に急きょ切り替えた。

長野県の信州大も 21 日、国内に 2 月 8 日以降、緊急事態宣言が引き続き出ている場合には、人文学部と経法学部で個別試験を中止し、共通テストの成績で選抜する方針を示した。「やむを得ず緊急措置を実施する場合がある」と公表した群馬大のほか、富山大や広島大などもホームページで、個別試験をやめる可能性があると予告している。

だが、年明けの急な中止の決定は、個別試験に向けて勉強してきた受験生の受験機会を途中で打ち切ることでもある。予備校の関係者は「コロナ禍とはいえ、1 月に入って大幅な変更をされると、対応しきれない」という。

文部科学省は 22 日、選抜方法の大きな変更は受験生に多大な不利益を与えるおそれがあるとして、慎重な検討を求める文書を各大学に送った。個別試験を中止して共通テストの成績のみで合否判定をするといった変更は、原則として出願開始（国公立大は 25 日）前の公表を求めた。

横浜国立大は昨年 7 月、埼玉県立大は昨年 10 月にそれぞれ、個別試験を取りやめ、共通テストの成績で合否を判定すると決めている。

・宇都宮大２次試験中止　コロナ拡大で異例、共通テスト成績などで合否判定へ
＜下野新聞　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/409518

宇都宮大は 21 日、2021 年度一般入試の個別学力検査を中止すると発表した。全国各地で新型コロナウイルスの感染状況が悪化し、栃木県も緊急事態宣言が再発令されたことなどから判断した。合否は 16、17 の両日に行わ

れた大学入学共通テストの成績などで評価する。宇大の担当者は「本学で前例のない対応」としている。

2 次試験に相当する個別学力検査は前期日程が 2 月 25 日、後期日程が 3 月 12 日に実施される予定だった。感染拡大が続く中、受験生の健康を守るため、群馬大との共同教育、地域デザイン科、国際、工、農の全 5 学部で中止を決めた。

個別学力検査で筆記試験を予定していた学科は、共通テストで相当する科目の成績を換算して評価する。小論文と面接を課す学科は論作文の提出を求めるほか、実技試験は動画などの提出に替わる。共同教育学部の入試はそれぞれの大学で実施しており、群馬大は通常通り個別学力検査を実施するという。

宇大によると、推薦入試なども含めた全受験者のうち約7割が県外者。前期は例年1500人程度が受験するため、担当者は「感染の収束が見通せない中で、受験者の受験機会確保のため決断した」と話す。

出願は今月 25 日から始まる。個別学力検査の中止についてはホームページ上で周知する。

文部科学省大学振興課は「宇都宮大から事前の相談や報告は受けていない」とした上で「個別試験はできる限り実施してほしいが、最終的には各大学の責任で判断するもの」とした。

同課によると、全国の国公立大のうち、横浜国立大が昨年 7 月末に、山陽小野田市立山口東京理科大が今月 8 日に、それぞれ個別試験の中止を公表した。

・<u>宇都宮大、２次試験中止　コロナ拡大で、共通テストで判定</u>

＜時事ドットコム　2021 年 1 月 22 日＞　https://www.jiji.com/jc/article?k=2021012200572&g=cov

宇都宮大（宇都宮市）は２２日までに、２、３月に実施予定だった大学入試の２次試験について、新型コロナウイルス感染拡大を理由に中止すると発表した。大学入学共通テストの成績などで合否判定するという。文部科学省によると、緊急事態宣言の再発令後に中止を決めた国立大は初めて。

同大は、栃木県の宣言再発令などを受け、「受験生の健康と安全を守ることを最優先に判断した」としている。北関東や東北からの受験生が多く、昨年は約１５００人の志願者が集まったという。

コロナ感染拡大を理由に、１月に入ってから２次試験中止の可能性を予告している国立大は他に、電気通信大（東京都調布市）や広島大（広島県東広島市）、信州大（松本市）の一部学部などがある。

・<u>２次試験直前の中止「ルール違反では」　宇都宮大決定に戸惑う塾や高校</u>

＜下野新聞　2021 年 1 月 22 日＞

https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/409518?rankinghour

https://news.yahoo.co.jp/articles/b7c63e0c37de00ec3c898740a3ef3e637391b2eb

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、地元宇都宮大の個別学力検査の中止が 21 日、明らかになった。大学入学共通テストを終え、受験生が志望大学への出願を目前にしている時期。生徒の努力を間近で見ている学習塾や各高校の関係者からは決定への戸惑いや疑問のほか、進路指導への影響を懸念する声が上がった。

宇都宮市内の学習塾で高校 3 年生を担当する男性（51）は「中止が分かっていれば志望者は共通テストに絞って対策ができた。それを今になって個別学力検査を中止するのはルール違反では」と憤りを隠せない。他大学では個別学力検査の中止を早い段階で決めたところもあったという。「宇大志望者にはあまりにも気の毒。コロナ禍に翻弄（ほんろう）され、生徒の負担は増すばかりだ」と志望者の個別学力検査対策に費やした時間と労力を思いやった。

毎年 20 人前後が宇都宮大に進学する石橋高の担当教諭は「生徒は入試を最後まで諦めずに頑張り抜くという決意を持ち続けるからこそ、終盤に一気に学力が伸びる。個別学力検査があった方がありがたいのは確か」と残念がる。一方で「コロナ感染の現状を踏まえ、大学側も苦慮した上での結論だろう」とも。

「受験生は当然個別学力検査のことも考えて勉強してきた。ただ、コロナの現状や出願前の中止の決定であることを考えれば受け入れるしかない」。宇都宮東高の外舘孝（とだてたかし）教頭は一定の理解を示し、今後、細かな進路指導に力を入れる考えだ。

栃木高の長谷川剛（はせがわたけし）教頭は「仕方のない側面もあるが、ほかの国立大で昨年夏に中止が決まった例とは異なり、共通テスト後なので驚いている」とし、「今後、ほかの大学の状況も細かく情報収集する必要がある」と影響を注視している。

・文科省、個別入試の中止・変更をけん制　全大学に「慎重な検討」促す
＜毎日新聞　2021 年 1 月 22 日＞　https://mainichi.jp/articles/20210122/k00/00m/040/316000c

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、個別入試を取りやめたり、中止の可能性があることを予告したりする大学が相次ぐ中、文部科学省は 22 日、すべての国公私立大に対し、個別入試の中止や変更については慎重に検討するよう文書で求めた。個別入試の実施方法が直前に変わると、受験生が大きな不利益を受ける可能性があるとしてクギを刺したかっこうだ。特に出願開始後は予定通り実施するよう要請した。

16、17 日の大学入学共通テストの第 1 日程が終わった後、個別入試の中止に言及する大学が相次いでいる。宇都宮大は 21 日、個別入試を中止して共通テストのみで合否判定することを発表した。広島大や信州大なども、今後の感染状況によっては個別入試を取りやめる可能性があることを公表した。国公立大の出願は 25 日から始まる。

********** 以上 **********